

## 関上地区まちづくり協議会 災害公営住宅の検討部会(6) 議事録

日時	平成27年3月5日(木) 18:30~20:30
場所	名取市文化会館 中庭 多目的ホール 希望の家
テーマ	災害公営住宅の集合住宅及び見学会について
出席者	検討部会メンバー:(部会長・世話役)宇佐美久夫、(副代表世話役)阿部ひで、阿部由子、木皿善弘、川島一、大友敏子、大友美和、(代表世話役)針生勉、(事務局)コンサルタント2名
アドバイザー	仙台高専 坂口先生、祝先生、学生3名
オブザーバー	市職員3名 報道機関1社
資料	資料-0 次第 資料-1 第一次提案資料 資料-2 集合住宅の間取りパターン

### ○ 意見概要 及び 決定事項

#### □意見概要

・次回の部会で、第三次提案の内容を提示するので、議論する。

#### □決定事項

・次回の部会開催は、3月19日とした。

### ○ 意見交換の詳細

宇佐美：東側の集合住宅の1階の利用方法について意見を聞きたい。戸建住宅入居者も利用する可能性もあるし、他の地区に入居希望の人でもできれば利用方法について意見を聞きたい。

坂口先生：集合住宅の一期整備は、地区の東側の140戸の計画で6階建ての予定だが、どのような建物にするか、意見を聞きたい。下増田の集合住宅は5階建てだが、関上は1階が非居住階で住めないため6階建てとなる。その1階部分に何をつくるかを検討する必要がある。事例として気仙沼では、集会所、物置、駐輪場でつかっている。下増田はワンフロアで10戸と大きく、同じようになるとは限らないが、1階の利用方法を聞きたい。また、集合住宅は外部空間が広く、入居者での管理が可能と考えられる。庭を共有するとか、花壇なんかも作れる可能性がある。加えて、提案として、集会所の確保による単身高齢世帯の介護支援ボランティアなどの事務所としてとか、講習会のスペース確保とかも考えられる。

宇佐美：質問は？

参加者：気仙沼以外には具体的な利用方法はなにか？

坂口：沿岸部の岩沼では内陸なので、1階も住居利用している。関上みたいな例はない。

参加者：コンビニエンスストアとか入れられるか？

宇佐美：たしかに、ミニスーパーでもあれば、高齢者も安心して住める。誰がやるのかという問題はあるが、最初の完成なので、生活利便性は悪いので、買い物などへの配慮があれば、便利になるので、入居者も増えるのではないか？アイデアとしてあるのではないかと思う。気仙沼では高齢者の見守りのための人たちが常勤しているらしい、集会所をうまく利用していると聞いている。

坂口：高齢者が外に出るような仕組みを作っている例もある。

宇佐美：1階に集まるスペースの確保により、高齢者の見守りの可能性もある。

参加者：交流する場としてはいいと思う。

坂口：単身高齢世帯は集合住宅しか入れないので、一人暮らしが多くなるはず、だからそのようなスペースが必要だと思う。

宇佐美：ロッカールーム、駐輪場などの利用もあるが、移動販売所の立ち寄りスペースなども、屋根があるので使いやすい。コンビニが難しいならそういうやり方もある。住戸をずらして階段状につくるなどの工夫も、場所が不利なことを建物のレイアウトで補うことなど考えるべきだ。特に、階段状の住戸ならバルコニーから下層の住戸へのはなしかけなどもしやすい。

参加者：そうなるとうれしい。

坂口：人気薄いという危惧があり、快適に住める工夫が必要である。下増田と同じ住棟でなく、変わったものがないか提案できないかと思う。最上階は避難拠点になるので、6階と2階の人の交流や集合住宅に住んだことのない人が多い閑上の人々の居住踏まえ、コミュニケーションをとりやすい住戸配置などを工夫するべきと思う。

参加者：海が見えるとか、夜景とか見るとか工夫できれば良い。

坂口：駐車場は1. 1台/戸として配置しても、外部空間が広いので、住棟の配置の自由度は高いはず。墓地も近いので、その見え方の工夫も必要。

宇佐美：風の向きの問題もある。嵩上げされた場所に立つので、風通を考えれば7階以上の高さになるので、見栄えも必要である。

坂口：外部空間に共同菜園や花壇なんかも可能だと思う。

宇佐美：庭いじりはしたいと思うか？

参加者：仮設でもいままで掃除なども行ってきたので、家にボーっとしているより、外にでて庭弄りたい。廊下はどこにある？

坂口：北側に廊下があり、南側はベランダがある。普通は廊下には壁と入り口しかないため、例えば、廊下側に開口部を作ることにより、在室が分かるようにする工夫で高齢者の見守りに対応できるようなこともありえる。実際、神戸でもそのような建物設計をしている。

宇佐美：2LDK, 1LDKについては、廊下側に居室が来るので、窓を作ることにより、在室がわかるようにしている案である。

坂口：プライバシーの問題など気になるか？

参加者：アパートぐらしでは挨拶の交換もない

坂口：できるだけどういふ人が入居するのか、住居前に顔合わせするとか、建物の作り方と入居の準備の仕方を工夫するべきだと思う。

宇佐美：震災後近所つきあいが形成されており、どういふ風に分配するか悩んでいるようだ。7月にもう一度入居希望の意向を聞くというような話なので、その意向調査にははっきり回答したほうが良い。グループ入居などの意向もあればしっかり書いて欲しい。下増田の入居はほぼ全体が同時だが、閑上は2年ぐらいの差がでる。分からない人ばかりの場所に入居はしんどい。

市：夏ごろに仮入居申し込みを予定している。

参加者：孫と同居する予定なのだが、戸建には入れるか？

市：一応、OK、変更すると入れない可能性があるので注意が必要。将来的な変動で入れなかった例があるので注意が必要。但し、あくまでも、申し込みの時点での資格が条件となる。

宇佐美：親族と入居できるなら戸建可能ということですね、入居希望がかわれば難しくなった例があるということですね。他の人でも例もある。

参加者：高柳も戸建が建つと聞いている。高柳でなんかやっているが？

市：圃場整備だと思う。

坂口：住戸の間取りだが、台所と食堂、居間について、食堂と居間が共有するケースが多いと考えられるので、台所を独立させる工夫などもある。食事の仕方が間取りに影響すると思う。

宇佐美：1LDKの場合、台所の近くで食事をするのではないのでは？台所と居間を分離したほうが良いのではないかということだ。

参加者：下増田を見たところ、独立した部屋だけだと仏壇のまえに会食ができないなどの問題があり、部屋がつづくほうがよい。

参加者：畳の部屋はあるか？

坂口：そのような希望をだせばできるはずだ。

宇佐美：下増田では、和室があったので評判が良かった。

坂口：皆さんいまは、ベッドで寝るのでしょうか？

参加者：広さの問題で様々だ。

宇佐美：板間に畳を入れている人が仮設にもいる。全部フローリングではなく、和室付きもある2タイプぐらい作ってもらったほうがよいのでは。

坂口：閑上は260戸近く作るので、タイプを増やすほうはいいのでは？

宇佐美：板間のうへの布団は違和感がある。板間はベッドのイメージがある。2間の境の襖は全開できるなどの岩沼の例もあり、部屋同士は壁でなく、引き戸で仕切れるほうが良い。

参加者：集合住宅は、火災時に逃げ遅れなど高齢者が巻き込まれる可能性があり、集合住宅への入居は躊躇されるのでは？

宇佐美：最近の集合住宅は火災にも強くなっていると思う。震災時も建物倒壊や火事で被災している人は少ないと聞いている。でも、鉄板の玄関扉はいやだ。

坂口：火災が気になるということを意見として言い続け、避難経路の工夫やアイデアだしにもつながるのではないか？

宇佐美：様々な人の立場で意見を言っていくべき。

参加者：住戸間の境は入るのか？

坂口：入る。火災のときに、ベランダ側への避難も考えられる。ペットについては？

参加者：ペットは飼えないと聞いた。

参加者：台所は都市ガスか？

市：閑上は都市ガスの予定である。

参加者：機材は使えないのか？仮設によって都市ガスかプロパンガスかで違う。

宇佐美：場所によって買え換えは必要だ。

参加者：集合住宅はペットは飼えるのか？

市：下増田はフロア分けで飼うことを可能としている。今までの調査では、ペットを飼うとしている人は2割程度なので、戸数から1棟単位でできるかもしれない。

参加者：部屋でかうのか？東側はペットが飼えますという利点があるなどの違いをつければよい。

遮音の問題もある。また、入居後飼うとした場合はどうしようもない。モラルの問題もある。

宇佐美：可能性のある人は先に言ってもらったほうがよい。その後で対応するのは難しい。泣き声だけでなく、においなどで嫌いな方もいることから、東側ではOKとかするべきかもしれない。

また、1階の入居は高齢者対応など、階数による入居の工夫もしたほうがよい。

参加者：入居後の生活の変化で必要とする人もでてくる。

坂口：個別の世帯の生活の違いがどこまで反映できるかだが、挑戦したほうが良い。

宇佐美：現在における車椅子の人を優先するという事か？

市：そのとおりです。

参加者：高齢者の見回りなどについてはどうするのか？

宇佐美：今後の検討課題となっているので、ぜひ参加して欲しい。見守りの体制についてはいろいろ提案があると思うので、今後、検討していく。

坂口：1階の集会所を作る際に高齢者の見守りやすい施設整備に配慮すべき項目が考えられる。

宇佐美：仮設は回ってくれる人がいる。社会福祉協議会、看護師、福祉大の人たち、このような環境を閉上でもどのようにするかが重要な検討課題となる。

参加者：外の流しはあったか？

宇佐美：あった。流しが狭いというような話があったが、実際は仮設と同じだった。レンジの幅は60cm、70cmの2つがあるはずだが、すこし大き目のほうがいいか？

事務局：車椅子対応の住戸を戸建に作るべきと思うか？

宇佐美：1戸建てにも車椅子対応とのはなしもある。せめて、台所ぐらいいは対応してほしいというはなしもある。

阿部：仙台の場合は、流しの下に入り込める。

宇佐美：下増田は評価良かったと思うが、よりこうなったらいいという点について、意見を聞いているので参考にしたい。

①戸建は2LDKが評判よい。2階建て3LDKは若い夫婦の入居がイメージされ、3LDKの2階は1部屋が良いと思う。

②物干のかける位置が高すぎる。

③縁側が狭く、広くしてほしい。

④2LDKの場合、台所の窓がないのでつけて欲しい。

⑤廊下にフットライトがあったほうが良い。できればコンセントを設置してほしい。

⑥1LDKのトイレに行くとき脱衣所を通る必要があるのはやめて欲しい。

参加者：縁側が狭くて出入りが危ない。

⑦収納は全体的に評判が良い。布団がしまいにくい部屋もあるので改善してほしい。

⑧駐車場の2台目は土なのでいろいろ使えるのでよい。

⑨下増田は敷地の境にフェンスを設置予定だが、なにがよいか、垣根が良いと思う。

⑩畳の部屋が欲しい。

⑪玄関は、スロープと階段があり便利だ。

⑫まちなみが単調にならないように、工夫をして欲しい

⑬下増田も外壁の色に工夫をしている。閉上の色が決まらないが。

参加者：仮設の物置をもっていったいいのか？

市：いいが、設置の安全性を確保してほしい。

参加者：屋根の色を区別したらどうか？地区毎に色で分かりやすくしたらよい。来る人も分かりやすい。

宇佐美：海のイメージだと水色になるが、どんな水色、どこにつかうか？屋根に使うということも案である。下増田は2色ある。絵にしてもらおうとかしないと分かりにくいかもしれない。特徴の出し方、歩道の色彩は、避難ルートをペイントするとかが欲しい。

参加者：屋根の形も考えるべき、寄棟、入母屋などで違いを出すなどもある。岩沼のデザインは良いと思う。下増田のデザインは古い。閉上にはデザインに配慮したものとして欲しい。

宇佐美：岩沼は場所によって設計者が違い、その競争でデザイン性が高いのかもしれない。閉上

もそういう風になればよい。

坂口：岩沼は、入居者たちがルールを決めて、提案書方式で業者を選定した経緯がある。閑上は戸数が多いので、そういう方法もうまくつかいながらまちなみ形成に配慮していくべき。

宇佐美：設計者への要望をどうだすかだ、スタイルはオーソドックスだが、外壁についてはデザイン性が考慮できる工夫をしてもらいたい。

参加者：供給戸数に対して申し込みが多かった場合どうなるのか？

坂口：岩沼は同時期にできたので、調整ができたが、閑上は段階的にできるので、全員が全部一度に入居できないので、工夫が必要。

宇佐美：入る希望戸数はできるか？

市：希望戸数は確保する。

宇佐美：話し合いでできればいいのだが。

坂口：岩沼は集落ごとの移転なので話し合いがしやすかった。閑上はまち全体なので、ボリュームがちがうので違う方法を考える必要もある。

参加者：津波が怖いとして高柳を望んでいる人の希望戸数と、閑上に行きたい人としている希望戸数の違いはどうか？

宇佐美：戸数に対して希望者が多ければ、決める方法は必要となる。

宇佐美：4月の総会で災害公営住宅の提案内容が決まれば、市に提案し、その対応を聞いてもらって、希望調査をしてもらうことになる。

代表世話役：百点の案を作成してもむりであり、赤点にならないような内容にしたい。

宇佐美：第三次提案として、今までの意見を整理して、まとめを作成し、もう一度部会させて欲しい。できれば、17日の前に開催したい。

代表世話役：24日の世話役会前でも可能である。

宇佐美：3月19日木曜日18：30とする。

坂口：周辺の人にも聞いてもらって、意見を持ってきてくれるとまとめやすい。

宇佐美：意見を言わないと反映しないということも理解してもらって意見を拾ってきて欲しい。

また、4月19日定期総会をやる予定なので、頭に入れておいて欲しい。

代表：部会のまとめの決め方について、考えて欲しい。

宇佐美：第三次提案のまとめのたたき台を見て、意見をきいて、訂正するかどうかを確認していく方法としたい。

以上